

## 日本ルーラルナーシング学会誌投稿規定

### 1. 投稿資格

投稿できる著者は、本学会の会員、その他編集委員会が適当と認めた者とする。

### 2. 原稿の内容

原稿の内容は、へき地看護・遠隔地看護およびそれに関連するものとし、原則として未発表のものとする。

### 3. 原稿の種類

原稿の種類は、総説、原著、研究報告、実践報告、その他編集委員会が適当と認めたものとする。なお、それぞれの原稿の内容は、次のとおりとする。

総説：特定の研究分野・領域の研究論文や調査論文を総括し、その研究分野・領域の研究動向を解説した論文

原著：独創的で、理論的または実証的な研究成果を内容とする研究論文

研究報告：「原著」の水準には達しないが、新しい知見を含み、学術的に価値が高い研究論文、または調査論文

実践報告：へき地看護・遠隔地看護およびそれに関連する実践的な活動の報告論文

### 4. 投稿原稿の採否

投稿原稿の採否は、1編につき2名の査読者による査読を行い、査読者の意見に基づいて編集委員会で決定する。

### 5. 投稿要領

#### 1) 原稿の長さ

総説、原著、研究報告は刷り上がり16ページ以内(図・表・写真を含む、抄録は除く)、実践報告は8ページ以内とする。刷り上がり1ページは、和文原稿ではA4判タイプ用紙で約2,000字、英文原稿ではA4判タイプ用紙で約500 wordsに相当する。なお、上記の枚数を超過した場合、その超過した部分にかかわる費用は著者の負担とする。

#### 2) 原稿の様式

原稿は、ワードプロセッサを用いて作成し、A4判の用紙を用いて44字×45行設定で、片面印刷で印字する。

原稿は、原則として新かなづかいとし、常用漢字を用いる。句読点は、全角文字の「、(カンマ)。(ピリオド)」を、英字・数字は半角文字を用いる。単位や略語は、慣用のものを用いる。外国人名や適当な日本語訳のない術語などは原綴を用いる。

#### 3) 原稿の形式

表紙には希望する原稿の種類、表題、英文表題、著者名、英文著者名、所属機関名、英文所属機関名、5語程度のキーワードを記載する。下半分には、別刷必要部数、原稿枚数、図表および写真の枚数、連絡者の氏名(所属機関・所在地・電話番号・Eメールアドレス)の他、会員番号を記載する。

2枚目には、400字程度の和文抄録をつける。

3枚目は本文から記載することとし、著者名、所属等は記載しない。

原著を希望する場合は、これに加えて250words程度の英文抄録をつける。英文抄録は、著者の責任においてネイティブチェックを受けること。

#### 4) 原稿の構成

原稿の構成は、原則として次のとおりとする。

- I. はじめに
- II. 研究方法
- III. 研究結果
- IV. 考察
- V. おわりに  
文献

#### 5) 図、表および写真

図、表および写真には、図1、表1、写真1などの通し番号、ならびに表題をつけ、本文とは別に一括し、原稿の欄外にそれぞれの挿入希望位置を指定する。図、表および写真は、原則として白黒で作成し、そのまま掲載できる明瞭なものとする。なお、カラー写真を掲載する場合、その費用は著者負担とする。

図、表および写真は1ページに1点として作成し、片面印刷とする。

図表の記載様式は、原則、アメリカ心理学(APA 7<sup>th</sup> Edition)の様式に準ずる。

図にグラフを掲載する際には、縦・横軸のラベル、縦軸の数値の単位などを記載する。

表は、原則として横罫線のみで表示し、縦罫線は表示せず、縦罫線の代わりに十分な空白を置く。

## 6) 研究倫理

投稿論文の著者は、「ヘルシンキ宣言」、日本看護協会の「看護研究のための倫理指針」、文部科学省・厚生労働省の「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」に準拠して、研究・実践活動を行う。

原則として、所属施設あるいは研究協力施設の倫理審査委員会の承認を得て研究を実施する。倫理審査委員会の承認を得て実施した研究は、承認した倫理審査委員会の名称及び承認年月日を本文中に記載する。倫理委員会での審査が難しい場合には、研究方法の項で対象者や関係者に行った倫理的配慮について詳しく記載する。

投稿論文は、他の学会誌等にすでに発表あるいは投稿していないものに限る。

二重投稿（同じ研究または酷似した研究をすでに公表または投稿中であること）、サラム論文（1つの研究を断片的に投稿すること）としない。研究対象者、目的、結果、考察が同じあるいは酷似している場合には、二重投稿あるいはサラム論文とみなすことがある。ただし、下記の場合は二重投稿に該当しない。大学の学位論文（卒業論文、修士論文、博士論文）及び大学の学位論文で機関リポジトリに登録されたものや、科研報告書や研究助成金を受けた機関が発行した報告書等に加筆・修正したもの。

## 7) 文献の記載様式

(1) 文献の記載様式は、原則、アメリカ心理学 (APA 7<sup>th</sup> Edition) の様式に準ずる。

(2) 本文の引用箇所には著者名、発行年次を括弧で表示する。

同じ著者による単著は、刊行年で並べる。

同じ著者による単著で、同一年に刊行された文献が複数ある場合には、刊行年の後ろにアルファベット小文字 a,b…を付して区別する。

同じ筆頭著者で第2著者が異なる文献は、第2著者のアルファベット順で、第2著者が同じ場合には第3著者のアルファベット順で並べる。

(3) 雑誌名は、原則として省略しないこととするが、省略する場合は、和文のものは日本医学雑誌略名表（日本医学図書館編）、英文のものは Index Medicus 所蔵のものにしたがう。

(4) 本文中での文献の記載方法は、次の例に従い適切な位置に挿入する。

### ①単独の著者の場合

著者の姓と発行年を括弧表示する。

例：「梶井(2009)によれば…」, 「…である (梶井, 2009).」

### ②複数の著者の場合

文献に2人の著者が存在する場合は、その文献が出現するたびに、両方の著者名を表記する。著者名の間は、中黒 (・) とする。

文献に3人以上の著者が存在する場合は、曖昧さを生じさせない場合には、文献の初出、及び以降の引用では、第1著者の姓の後に他を付ける。

文献に3人以上の著者が存在する場合で、出版年が同じ場合など曖昧さを生じさせる場合は、文献の初出の際に文献を区別するために必要な数の著者の姓を記載し、それ以降、初出と同様に必要な著者の姓を記載し、その後他を付ける。

例：著者が2人の場合

初出、2回目以降：「春山・江角 (2015) は…」, 「…である (春山・江角, 2015).」

例：著者が3人以上で、曖昧さを生じさせない場合

初出・2回目以降：「春山, 他 (2015) は…」, 「…である (春山, 他 2015).」

例：著者が3人以上で、曖昧さを生じさせる場合  
春山・江角・関山・阿部・他 (2015)

春山・江角・関山・内海・他 (2015)

引用文献の区別がつくように4人目の著者まで記載が必要となる。

初出・2回目以降「春山・江角・関山・阿部・他 (2015)」「(春山・江角・関山・阿部・他, 2015)

(5) 本文の最後に引用文献を記載する場合、筆頭著者の姓によって、アルファベット順で一括して記載する。筆頭著者の姓が同じ場合には、第2著者の姓により、掲載順位を決める。

引用文献の表記が2行以上にわたる場合は、2行目以降を全角2文字（半角4文字）分字下げする。

文献に2人の著者が存在する場合は、両方の著

者名を表記する。著者名の間は、カンマ (,) とする。

文献に3人以上の著者が存在する場合は、曖昧さを生じさせない場合には、第1著者の姓の後に他を付ける。

文献に3人以上の著者が存在する場合で、出版年が同じ場合など曖昧さを生じさせる場合は、文献を区別するために必要な数の著者の姓を記載し、その後に他を付ける。著者名の間は、カンマ (,) とする。

(6) 本文の最後に引用文献を記載する方法は、原則、アメリカ心理学 (APA 7<sup>th</sup> Edition) の様式に準ずる。

但し、雑誌の記載については、表題、書籍名、誌名、巻数は、イタリック体ではなく、正体のままでよい。

#### ①雑誌の場合

著者名 (発行年 (西暦)) : 論文題名. 雑誌名, 巻数 (号数) ; 頁-頁.

例

春山早苗, 江角伸吾, 関山友子他(2015) : わが国のへき地診療所における看護活動の特徴—2003年, 2008年, 2013年の比較から—. 日本ルーラルナースング学会誌, 10 ; 1-13.

Walker C, Forbes R (2023) : The impact of rural nursing and midwifery clinical placements from the perspective of health service staff. *Australian Journal of rural health*, 31(2) ; 256-265.

#### ②単行本の場合

著者名 (発行年 (西暦)) : 論文題名. 編集者名, 書名, 発行所 (発行地), 頁-頁.

例

梶井英治 (2009) : I. 医療の現状と地域医療. 自治医科大学監修, 地域医療テキスト, 医学書院 (東京), pp.2-3.

Winters C.A.(2013) : *Rural Nursing Concepts, Theory, and Practice*. Springer Publishing Company (New York), 32-36.

(7) オンライン上の定期刊行物

①オンライン版で、DOI の記載がない場合

著者名 (公開年) : 論文題名 (または記事タイト

ル), 雑誌名, 巻数 (号数), 開始頁-終了頁. (URL)  
例

Pavloff, Michelle, Edge, Dana S., Kulig, Judith Judith(2022) : A framework for nursing practice in rural and remote Canada. *Rural & Remote Health*, 22(3), 112-119.

(<https://www.rrh.org.au/journal/article/7545>)

②オンライン版で、DOI の記載がある場合

著者名 (公開年) : 論文題名, 雑誌名, 巻数 (号数), 開始頁-終了頁, DOI 番号  
(<http://doi.org/XXX>)

例

Pullyblank, Kristin (2023) : A Scoping Literature Review of Rural Beliefs and Attitudes toward Telehealth Utilization, *Western Journal of Nursing Research*, 45(4), 375-384

(<http://10.1177/01939459221134374>)

(8) オンライン上の文書・資料

著者名 (公開年度) : 表題. URL (検索年月日)

例

厚生労働省医政局地域医療計画課救急・周産期医療等対策室 (2020) : 令和元年度 無医地区等調査. <https://www.mhlw.go.jp/toukei/list/76-16b/dl/r02-01.pdf> (2023.7.17)

(9) 特殊な報告書, 投稿中原稿, 私信など一般的に入手不可能な資料, およびインターネットのホームページは, 原則として引用文献としては認められない。

## 6. 投稿原稿の提出

1) 投稿にあたっては, 本文, 図表など, すべて正1部, 副2部を送付する。副本に謝辞等は記載しない。また, 査読終了後の最終原稿は電子ファイルで提出する。

2) 投稿原稿は, 封筒の表に「日本ルーラルナースング学会誌原稿」と朱書き, 編集委員会に書留で郵送する。編集委員会の宛先は, 学会ホームページの「学会誌投稿規定」内の所定の箇所に記す。

## 7. 校正

著者の校正は初校のみとし、それ以降の校正は編集委員会において行う。

## 8. 利益相反

日本ルーラルナーシング学会COI管理指針細則に従い、筆頭、共著者を含む全員は、投稿時から遡って過去2年以内での当該研究実施に関わる利益相反（以下、COI）状態について、開示する義務のあるCOI状態がある場合は、論文投稿時に「本学会誌等で発表を行う著者の利益相反（COI）申告書」を用いて、自己申告する。またCOIの有無にかかわらず、論文の謝辞または文献の前に掲載して開示する。

## 9. 別刷

別刷は30部までは無料とする。それ以上の部数が必要な場合の費用は、著者の負担とする。

## 10. 掲載原稿の著作権

本誌に掲載された原稿の著作権は、本学会に帰属する。

## 附則

この規定は、平成18年1月1日から施行する。

この規定は、平成20年1月1日から施行する。

この規定は、平成21年8月29日から施行する。

この規定は、平成22年1月22日から施行する。

この規定は、平成25年10月13日から施行する。

この規定は、平成26年10月4日から施行する。

この規定は、平成29年11月24日から施行する。

この規定は、令和5年10月1日から施行する。

この規定は、令和7年4月1日から施行する。

この規定は、令和8年4月1日から施行する。